

令和4年度アレルギー疾患に関する調査票

(回答者情報)

学校名		
学校種 ※学校種表より選択してください		
都道府県 (コード) ※都道府県コード表より選択してください		
ご連絡先	電話番号 (ハイフン不要)	
	E-mail	

<学校種>

小学校	1	中学校	2	義務教育学校	3
高等学校	4	中等教育学校	5	特別支援学校	6

<都道府県コード表>

北海道	01	青森県	02	岩手県	03	宮城県	04
秋田県	05	山形県	06	福島県	07	茨城県	08
栃木県	09	群馬県	10	埼玉県	11	千葉県	12
東京都	13	神奈川県	14	新潟県	15	富山県	16
石川県	17	福井県	18	山梨県	19	長野県	20
岐阜県	21	静岡県	22	愛知県	23	三重県	24
滋賀県	25	京都府	26	大阪府	27	兵庫県	28
奈良県	29	和歌山県	30	鳥取県	31	島根県	32
岡山県	33	広島県	34	山口県	35	徳島県	36
香川県	37	愛媛県	38	高知県	39	福岡県	40
佐賀県	41	長崎県	42	熊本県	43	大分県	44
宮崎県	45	鹿児島県	46	沖縄県	47		

次ページから設問がはじまります

## (1) 基本情報

問1 学校における児童生徒数、うちアレルギー疾患のある者等の数と管理指導表等の提出者数、これまでのエピペンの使用実績について、以下表のとおりお答えください。(数字は、「エピペン使用者」以外は、令和4年9月1日時点の数字を記載してください。該当者がいない時は「0」と記入してください。)

		男子	女子
児童生徒数(人)		人	人
ぜん息	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
アトピー性皮膚炎	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
アレルギー性鼻炎(花粉症含む)	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
アレルギー性結膜炎(花粉症含む)	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
食物アレルギー	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
アナフィラキシー	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
エピペン保持者	学校が把握している数	人	人
	うち管理指導表の提出者数	人	人
	うち管理指導表以外の医師からの診断書の提出者数	人	人
エピペン使用者 (R3/4/1 - R4/3/31)	本人による自己注射	人	人
	学校職員による注射	人	人
	保護者による注射	人	人
	救急救命士による注射	人	人

**問2** 問1の「食物アレルギーに対する管理指導表の提出者」がいる方にお尋ねします。回答された数のうち、当該提出者の管理指導表に記載された原因食物・除去根拠等の記載内容だけでは対応が困難で、令和4年度の対応として年度初め等に、主治医等に問い合わせをした件数（児童生徒1人に対し1件）をお答えください。該当者がいない時は「0」と記入してください。

管理指導表に記載された原因食物・除去根拠等の記載内容だけでは対応が困難で、主治医等に問い合わせをした件数	件
--	---

**問3** 食物アレルギーにおける原因食物（アレルゲン）別にそれぞれの児童生徒数を、以下表のとおりお答えください。令和4年9月1日時点の数字を記載してください。  
該当者がいない時は「0」と記入してください。

		2022年（R4）
鶏卵		人
牛乳・乳製品		人
小麦		人
ソバ		人
ピーナッツ		人
甲殻類		人
内訳	すべて	人
	エビ	人
	カニ	人
木の実類		人
内訳	すべて	人
	クルミ	人
	カシュー	人
	アーモンド	人
果物類		人
魚類		人
肉類		人
その他		人

## (2) 学校における保健管理の取組状況

**問4** 学校におけるアレルギー対応に関する委員会について、最も近いものを1つ選んでください。

- a 単独で設置している
- b 単独では設置していないが、学校保健関係の委員会等として設置している
- c 設置していない

**問5** 2021（令和3）年度のアレルギー対応に関する校内研修・実習について、該当する選択肢をすべて選んでください。

- a アレルギー疾患に関する校内研修を行った
- b エピペンの取扱に関する校内実習を行った
- c アナフィラキシーに関する緊急対応の模擬訓練を行った
- d 校内研修や実習は行わなかった

**問6** 問5で研修等を行った（選択肢 a,b,c のいずれか）と回答された学校にお尋ねします。アレルギー対応に関する研修等の対象者について、最も近いものを1つ選んでください。

- a 全教職員を対象
- b 一部の教職員を対象
- c 特に対象を決めていない

**問7** 問5で校内研修を行っている（選択肢 a,b,c のいずれか）と回答された学校にお尋ねします。アレルギー対応に関する研修等における教材の活用状況について、該当する選択肢をすべて選んでください。

- a 文部科学省のホームページで公開している「学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方」等の研修資料（スライド）を活用した
- b 文部科学省のホームページで公開している「学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方」等の映像資料（YouTube・DVD等）を活用した
- c 文部科学省のホームページで公開している「自治体等の事例」を活用した
- d その他（）
- e 教材は特に活用しなかった

- 問8 2021（令和3）年度のアレルギー対応に関する校外研修で教職員が参加したもののについて、該当する選択肢をすべて選んでください。
- a アレルギー疾患に関する対面の校外研修へ参加した
  - b アレルギー疾患に関するWebの校外研修へ参加した
  - c アレルギー疾患に関する対面またはWebの校外研修の機会があったが参加しなかった
  - d アレルギー疾患に関する対面またはWebの校外研修の機会は無かった

- 問9 エピペンを処方されている児童生徒がアナフィラキシーの状態にあり、かつ、本人が自らエピペンを使用できない場合の学校側の対応として、どのような対応を行うこととなっているか。最も近いものを1つ選んでください。
- a 立場や職種に関係なく、誰もが直ちに注射することになっている
  - b 特定の教職員が直ちに注射することになっている
  - c その他（ )

- 問10 エピペンの管理・保管について、学校での対応に最も近い項目を1つ選択してください。
- a エピペンは学校で管理・保管するとともに、本人も別にエピペンを保管（携帯）するように求めている
  - b エピペンは学校で管理・保管しており、本人の保管（携帯）は求めている
  - c エピペンは学校で管理・保管せず、本人の保管（携帯）状況を管理している
  - d エピペンは学校で管理・保管はせず、本人の保管状況も管理していない

- 問11 問10でエピペンを管理・保管されている（選択肢a,b）と回答された学校にお尋ねします。 エピペンの学校での保管場所について、該当する場所をすべて選んでください。
- a 本人のランドセルや机、ロッカー等
  - b 教室の担任教諭の机、ロッカー等
  - c 教職員室
  - d 校長室
  - e 保健室
  - f その他（ )

問 12 教職員間におけるエピペンの保管場所の情報共有について、学校での対応に最も近い項目を1つ選択してください。

- a 保管場所はすべての教職員で共有している
- b 保管場所は担任や養護教諭など、一部の教職員が共有している
- c エピペンの保管については各人に任されており、学校として統一の対応はしていない

問 13 食物アレルギー・アナフィラキシー対応に関する外部機関との連携について、該当する選択肢をすべて選んでください。

- a 主治医と連携している
- b 学校医と連携している
- c 消防機関と連携している（エピペンを所持している児童生徒の情報を消防機関に提供している）
- d 消防機関と連携している（エピペンを所持している児童生徒の情報を消防機関に提供していない）
- e 緊急時連絡医療機関と連携している
- f 特に連携を行っていない

問 14 学校でのアレルギー疾患への対応や特別に配慮を行っている事項についてお尋ねします。

- ① ぜん息について該当する選択肢すべてを選んでください。
- a 管理指導表の提出を必須とし、管理指導表に基づいて対応
  - b 学校への持参薬の確認をしている
  - c 持参薬の学校での使用に関して、支援・援助をしている
  - d 運動（体育・部活動等）への参加について配慮している
  - e 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動について配慮している
  - f 宿泊を伴う校外活動について配慮している
  - g 緊急時の対応や連絡体制について、学校、保護者、医療機関等で共通理解を図っている
  - h 特に取組はない

- ② アトピー性皮膚炎について該当する選択肢すべてを選んでください。
- a 管理指導表の提出を必須とし、管理指導表に基づいて対応
  - b 学校への持参薬の確認をしている
  - c 持参薬の学校での使用に関して、支援・援助をしている
  - d 運動（体育・部活動等）への参加について配慮している
  - e 水泳指導の際に配慮している
  - f 動物との接触について配慮している
  - g 発汗後のスキンケア等について配慮している
  - h 特に取組はない
- ③ アレルギー性鼻炎・結膜炎について該当する選択肢すべてを選んでください。
- a 管理指導表の提出を必須とし、管理指導表に基づいて対応
  - b 学校への持参薬の確認をしている
  - c 持参薬の学校での使用に関して、支援・援助をしている
  - d 水泳指導について配慮している
  - e 特に花粉の飛散時期やホコリの多い日等の屋外活動について配慮している
  - f 特に取組はない
- ④ 食物アレルギー・アナフィラキシーについて該当する選択肢すべてを選んでください。
- a 管理指導表の提出を必須とし、管理指導表に基づいて対応している
  - b 緊急対応薬（エピペンを含む。）の確認をしている
  - c 学校給食喫食時の配慮（席を離す、別室にするなど）をしている
  - d 食物・食材を扱う授業・活動について配慮している
  - e 運動（体育・部活動等）への参加について配慮している
  - f 宿泊を伴う校外活動について配慮している
  - g 緊急時の対応や連絡体制について、学校、保護者、医療機関等で共通理解を図っている
  - h 学級等で、食物アレルギーの理解を深めるための指導等を行っている
  - i 学校給食等に関する個別的な相談指導を行っている
  - j 特に取組はない

### (3) 学校における給食管理の取組状況

問 15 学校における学校給食の実施状況について、最も近いものを1つ選んでください。

- a 完全給食
- b 補食給食
- c ミルク給食
- d 給食未実施

選択肢 c,d を回答された学校は、ここまでで終了です。

問 16 問 15 で選択肢 a,b のいずれかに回答された学校にお尋ねします。学校における学校給食の調理方式について、最も近いものを1つ選んでください。

- a 単独調理場方式
- b 共同調理場方式
- c その他調理方式

問 17 問 15 で選択肢 a,b のいずれかに回答された学校にお尋ねします。令和4年度初めの食物アレルギー・アナフィラキシーに関する面談の実施状況について、最も近いものを1つ選んでください。

- a 食物アレルギー・アナフィラキシーを有する全員に行った
- b 食物アレルギー・アナフィラキシーを有する者のうち、必要な者のみに行った
- c 面談は行っていない

問 18 問 17 で面談を実施している（選択肢 a,b）と回答された学校にお尋ねします。面談に参加している職種をすべて選んでください。

- a 管理職
- b 担任教諭
- c 養護教諭
- d 栄養教諭・学校栄養職員
- e その他（ )



問 19 問 15 で選択肢 a,b のいずれかに回答された学校にお尋ねします。食物アレルギー・アナフィラキシーのある児童生徒への学校給食の対応のうち、**食物別に**主な給食対応を選んでください。

	主な学校給食の対応
鶏卵	(a, b, c, d, e, f)
生乳・乳製品	(a, b, c, d, e, f)
小麦	(a, b, c, d, e, f)
ソバ	(a, b, c, d, e, f)
ピーナッツ	(a, b, c, d, e, f)
甲殻類	(a, b, c, d, e, f)
木の実類	(a, b, c, d, e, f)
果物類	(a, b, c, d, e, f)
魚類	(a, b, c, d, e, f)
ゴマ	(a, b, c, d, e, f)

【主な学校給食の対応】

- a 詳細な献立表対応のみ : レベル1 (献立表に使用食品等を表示)
- b 一部弁当対応 : レベル2 (弁当持参)
- c 除去食対応 : レベル3 (除去食対応)
- d 代替食対応 : レベル4 (代替食・特別食対応)
- e 給食では提供しない食物
- f 特に対応していない

問 20 問 15 で選択肢 a,b のいずれかに回答された学校にお尋ねします。学校給食における食物アレルギー・アナフィラキシー対応における課題について、該当する選択肢**すべて**を選んでください。

- a 都道府県教育委員会の理解が乏しい
- b 市区町村教育委員会の理解が乏しい
- c 学校の管理職の理解が乏しい
- d 学校の教職員間での理解が乏しい
- e 上記のいずれでもない
- f 課題はない